



発行 第9回地方自治研究全国集会  
速報『くらまてんぐ』編集委員会

〒604-8854  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5F  
TEL 075-801-8186/FAX 075-801-3482



京の四季③

7月の祇園祭 日本を代表する祭を支える京町衆の力

夏



▲「六斎念仏踊り」のクライマックス。鬼が獅子にクモの糸を投げつけて退治するシーン



# 第9回地方自治研究 全国集会START 全体会に1200人

# 地方自治の新しい可能性を

## 「信号機を壊した『構造改革』」

## ● 記念講演



評論家 佐高 信さん

「蟻くいをかみ殺したまま死んだ蟻」  
—— 気概を持って頑張ろう

この秋一番の、最高の行楽日和となった18日、第9回地方自治研究全国集会の会場となった京都会館は、1200人を超える全国各地からの参加者で埋まりました。オープニングを飾ったのは、現地歓迎行事の「六斎念仏踊り」。かわいらしい子どもたちの太鼓をたたく姿に会場の雰囲気は和み、鬼が獅子にクモの糸を投げつけるクライマックスでは、会場から驚きの声と大きな拍手が沸き起こりました。続いて、全国集会実行委員会の吉本哲夫氏(障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会会長)と現地実行委員会の中林浩氏(神戸松蔭女子学院大学教授)が主催者を代表して挨拶しました。「信号機を壊した『構造改革』」と題して評論家の佐高信氏が記念講演を行い、休憩の後、基調フォーラム、そして夜には、ナイター講座と青年企画が行われ参加者は大いに学び交流しました。

「構造改革」をどのように打ち破っていくのかを考えると、自治体の側から、国家に対抗する動きが出てこなければならぬ。ある種の決戦場だ。市町村合併は銀行合併と同じ、どうにもならないものが一緒になっても、どうにもならない。大きくなれば、住民に対するサービスが行き届かなくなる。住民とつながる道は、自分たちの仕事と分かれて別にあるわけではない。

小泉氏や竹中氏は何を言ったのか、「信号機を壊した」と私は言っている。資本主義にはルールが必要だ。ルールを全部取っ払えというが竹中氏の考え方だ。民営化というのは会社化のことだ。規制緩和という安全緩和を規制を取っ払ってやった。JR東日本・西日本の事故も会社化の中で起きた事故だ。警察や消防署を赤字だからなくすとは言わない。パブリックとは何なのかを常に押さえておかないと、公務員パッシングがおこる。

私たちは、一人ひとりの暮らしから、25条と9条を重ね合わせて考える。物を買う力を大きくしなければ経済はよくならない。

滋賀県知事選挙で嘉田由紀子氏が勝った。自公民が押す現職に勝った。なぜ勝ったのか、「構造改革」は、自民の支持者を地方の保守層から保守浮動票へ移した。地方は切り捨てられた。その保守が反撃した。それが嘉田知事誕生のいきさつだ。自民党が見捨てた保守票を、「構造改革」と対決する側がどう取り込むのが次の選挙のポイント。気概を持って頑張ろう。